

平成28年度 秋田県立秋田工業高等学校 同窓会総会

《日 時》 平成28年5月28日(土)

役員会	午後3:00~
総会	午後3:30~
アトラクション	午後4:30~
懇親会・新会員歓迎会	午後5:00~

《会 場》 秋田ビューホテル 秋田市中通2-6-1 (TEL:018-832-1111)

【 次 第 】

- 1 開会のことば
- 2 黙祷
- 3 校歌斉唱
- 4 会長あいさつ
- 5 校長あいさつ
- 6 叙勲者紹介
- 7 議長選出
- 8 議 事



議案第1号 平成27年度事業報告及び会計決算報告並びに会計監査報告について

議案第2号 平成28年度事業計画(案)及び会計予算(案)について

議案第3号 その他

- 9 閉会のことば

秋田工業高校校歌

相馬 御風 作詞

宮原 禎次 作曲

一、太平山の^{りん}凜たる雄姿

^{せい}が^{あさひ}の^{よど}淀
清河旭川の淀まぬ心

^{きんろう}の^{しつじつ}精質実の徳

^{かなさ}健児の指さす所

希望の光世界を^て輝らす

二、物皆凍る寒風おろし

身を^{えんしよ}焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気不断の努力

金砂健児の^{いきおい}勢力見よと

^{こくえんひ}ごと^{ちゆう}と
黒煙日每天へと冲す

三、進みて止まぬ科学の力

わが身に^{たい}休し工業界の

未来の使命^{にな}肩にぞ担ふ

金砂健児が^{みくに}御国に誓ふ

忠誠これぞ不滅^{いのち}の命

晴れの叙勲・褒章の紹介
(敬称略・事務局判明分)

平成28年春の叙勲

瑞宝单光章

大越敏雄(昭和29年電気科卒) 秋田市
警察功労。元警察庁技官。

(哀悼) 謹んでご冥福をお祈りいたします。
 平成27年4月2日～平成28年4月1日 (敬称略・事務局判明分)

故人ご芳名	卒年	科	住所	備考
佐藤 俊秀	昭和29年	機械	秋田市	旧職員
三島 源悦	昭和20年	機械	秋田市	
伊藤 博	昭和28年	機械	静岡県	
小幡 紀男	昭和37年	機械	秋田市	
戸部 信一	昭和41年	機械	秋田市	
登藤 良一	昭和43年	機械	神奈川県	
鎌田 源悦	昭和48年	機械	潟上市	
中村 健一	昭和30年	電気	秋田市	
千葉 高穂	昭和33年	電気	仙台市	
石井 正一	昭和45年	電気	南秋田郡	
鈴木(須藤) 淳	昭和52年	電気	秋田市	
佐々木 順悦	昭和28年	土木	神奈川県	
伊東 尚久	昭和29年	土木	秋田市	
田口 祐治	昭和46年	土木	秋田市	
伊藤 良明	昭和31年	建築	秋田市	
齊藤 慎吾	昭和36年	建築	北海道	
中田 勝美	昭和16年	採鉱	北海道	
田中 善一郎	昭和16年	採鉱	静岡県	
庄司 誠治	昭和17年	採鉱	千葉県	
長澤 金吾	昭和22年	採鉱	神奈川県	
太田 重雄	昭和28年	冶金	神奈川県	
佐藤 義美	昭和29年	冶金	岩手県	
佐藤 忠	昭和30年	冶金	愛知県	
今村 次郎	昭和31年	冶金	東京都	
加賀 長次	昭和25年	工業化学	秋田市	
石塚 勝洋	昭和32年	工業化学	東京都	
佐藤 南	昭和36年	工業化学	岐阜県	

議案第1号の1

平成27年度
秋工同窓会本部事業一覧

	期 日	事 業 名	場 所
1	4月23日(木)	第1回企画委員会	同窓会館
2	5月 1日(金)	第2回企画委員会・当番幹事会	同窓会館
3	5月 8日(金)	会長・副会長会議	第一会館
4	5月23日(土)	平成27年度年次総会・新会員歓迎会	秋田ビューホテル
5	6月23日(火)	会長・副会長会議	あべや
6	7月30日(木)	合同委員会	大町ビル
7	8月26日(水)	第1回広報委員会	同窓会館
8	9月25日(金)	第2回広報委員会	同窓会館
9	10月 6日(火)	第3回広報委員会	同窓会館
10	11月11日(水)	第4回広報委員会	同窓会館
11	11月30日(月)	同窓会誌 第50号発行	同窓会館
12	3月 1日(火)	同窓会長賞授与式	母校体育館
13	3月 1日(火)	同窓会入会式	母校体育館
14	3月 3日(木)	第5回広報委員会	うお座

※ 同窓会長賞 技術・技能の分野で特に優れた卒業生（H27年度 4名受賞）

電気I科 千葉 芙生
 土木科 高橋 明里
 建築科 本間 羅斗
 工業化学科 三浦 公裕

秋工同窓会支部・部会総会開催一覧

期日	支部・部会名	場所	会場	出席者
6月 8日(月)	金砂クラブ4部会総会	秋田市	イヤタカ	工藤会長
6月13日(土)	東海支部総会	愛知県名古屋	サンルートプラザ名古屋	工藤会長
6月14日(日)	関西支部総会	大阪府吹田市	サニーストンホテル	工藤会長
6月19日(金)	北海道支部総会	北海道登別市	登別万世閣	工藤会長
7月 4日(土)	男鹿支部総会	男鹿市	きりん亭	工藤会長
7月31日(金)	東北機械支部総会	秋田市	第一会館本館	工藤会長
10月17日(土)	ポプラ会総会	秋田市	アルバートホテル秋田	工藤会長
10月24日(土)	土木科同窓会総会	秋田市	第一会館本館	池田副会長
11月 7日(土)	東京秋工会総会	東京都千代田区	アルカディア市ヶ谷私学会館	工藤会長
11月 8日(日)	静岡支部総会	静岡県清水区	三保園ホテル	工藤会長
11月20日(金)	南部金砂会総会	秋田市	第一会館本館	工藤会長
12月 1日(火)	秋田市役所金砂会総会	秋田市	秋田キャッスルホテル	工藤会長
12月 4日(金)	大仙仙北支部総会	大仙市	大曲プラザたつみ	工藤会長
1月30日(土)	秋田県警金砂会総会	秋田市	ふきみ会館	工藤会長

議案第1号の2

平成27年度 一般会計決算書

収入総額	5,751,318
支出総額	3,842,125
差引残高	1,909,193

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
会費	3,498,000	3,296,490		201,510	
1.在校生会費	1,098,000	1,102,800	4,800		生徒12ヶ月分
2.同窓生会費	2,400,000	2,193,690		206,310	
繰越金	2,074,358	2,074,358	0	0	前年度繰越金
広告賛助金	250,000	375,970	125,970		36社分(振替手数料差し引き後)
雑収入	242	4,500	4,258		同窓会会員名簿売上
合計	5,822,600	5,751,318		71,282	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	比較増減		摘要
			増	減	
会議費	400,000	194,583		205,417	
1.総会費	200,000	123,333		76,667	アトラクション謝金他
2.役員会議費	200,000	71,250		128,750	
事務費	1,956,000	1,767,311		188,689	
1.事務手当	1,176,000	1,176,000	0	0	事務員手当
2.事務諸費	50,000	34,762		15,238	事務用備品
3.印刷費	30,000	0		30,000	
4.通信費	250,000	194,184		55,816	電話・FAX・郵送代
5.旅費	300,000	291,553		8,447	支部総会出席
6.光熱費	120,000	47,741		72,259	灯油・ガス代
7.消耗品費	30,000	23,071		6,929	事務局用消耗品
事業費	3,050,000	1,797,556		1,252,444	
1.会報発行費	2,500,000	1,453,764		1,046,236	会報印刷代、封筒代、送料
2.慶弔費	100,000	0		100,000	
3.支部祝金	200,000	190,000		10,000	
4.新会員歓迎費	100,000	93,312		6,688	会員章代
5.褒賞費	100,000	60,480		39,520	同窓会長賞(4名)
6.同窓会ブース準備費	50,000	0		50,000	
雑費	116,600	82,675		33,925	全国大会広告代他
特別会計繰入金	300,000	0		300,000	
合計	5,822,600	3,842,125		1,980,475	

議案第1号の3

平成27年度 特別会計決算書

1. 基本積立金

収入総額	3,173,881
支出総額	0
差引残高	3,173,881

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	3,169,360	3,169,360	0	0	
収 入	300,000	0		300,000	一般会計財源不足による
1. 繰 入 金	300,000	0		300,000	一般会計財源不足による
雑 収 入	640	4,521	3,881		預金利息、同窓会総会御厚志
合 計	3,470,000	3,173,881		296,119	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減		摘 要
			増	減	
雑 費	0	0	0	0	
合 計	0	0	0	0	

議案第1号の4

監 査 報 告 書

27

平成~~26~~年度 秋田工業高等学校同窓会の一般会計特別会計について、決算書にもとづき、帳簿及び証拠書類を精査いたしましたところ、収入支出ともに正確かつ適正に処理されていることを認めます。


28

平成~~27~~年 5 月 12 日

秋田工業高校同窓会

会 長 工 藤 嘉 範 様

監 事 三 浦 清 一 

監 事 田 仲 雅 美 

議案第2号の1

平成28年度 事業計画(案)

<重点努力目標>

- 1 同窓会活動の活性化と会員が多数参加できる魅力ある活動を目指す。
- 2 今後の同窓会事業への意見を会員から積極的に募ると共に、会費納入率アップを目指す。

<具体的取り組み事項>

- 1 各委員会（名簿・広報・財政・企画）間の連携と協力を密にし、活動を推進する。
- 2 役員（常任幹事・幹事）の活性化により企業支部を含んだ各支部・OB会とのつながりを深める。
- 3 ホームページを随時更新することにより、最新の同窓会活動について広報する。
- 4 同窓会誌の発行を11月に発行する。
- 5 同窓会員の個人情報管理に努める。
- 6 全国大会出場を果たした母校の部活動を支援する。

<行事予定>

期 日	内 容	場 所	備 考
5月28日(土)	役員会・年次総会、新会員歓迎会	秋田ビューホテル	
11月中旬	同窓会誌第51号発行		
3月1日(水)	新会員入会式	母校体育館	

議案第2号の2

平成28年度 一般会計予算書(案)

収入総額 5,540,000
 支出総額 5,540,000
 差引残高 0

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	昨年度予算額	比較増減		摘要
			増	減	
会費	3,328,600	3,498,000		169,400	
1 在校生会費	1,128,600	1,098,000	30,600		年間1,800円×627名
2 同窓生会費	2,200,000	2,400,000		200,000	2,000円×1,100人
繰越金	1,909,193	2,074,358		165,165	前年度繰越金
広告賛助金	300,000	250,000	50,000		30社
雑収入	2,207	242	1,965		
合計	5,540,000	5,822,600		282,600	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	昨年度予算額	比較増減		摘要
			増	減	
会議費	400,000	400,000			
1 総会費	200,000	200,000			会場費、新会員記念品等
2 役員会議費	200,000	200,000			会議補助
事務費	2,006,000	1,956,000			
1 事務手当	1,176,000	1,176,000			事務員手当
2 事務諸費	100,000	50,000	50,000		事務用備品等
3 印刷費	30,000	30,000			インクカートリッジ代等
4 通信費	250,000	250,000			電話・FAX・郵送代
5 旅費	300,000	300,000			支部総会出席
6 光熱費	120,000	120,000			灯油・ガス代等
7 消耗品費	30,000	30,000			事務局消耗品等
事業費	2,750,000	3,050,000			
1 会報発行費	2,200,000	2,500,000		300,000	印刷代、封筒代、送料
2 慶弔費	100,000	100,000			
3 支部祝金	200,000	200,000			
4 新会員歓迎費	100,000	100,000			会員章他
5 褒賞費	100,000	100,000			同窓会長賞
6 同窓会ブース準備費	50,000	50,000			秋工祭
雑費	84,000	116,600		32,600	
特別会計繰入金	300,000	300,000			
合計	5,540,000	5,822,600		282,600	

議案第2号の3

平成28年度 特別会計予算書(案)

1 基本積立金

収入総額 3,475,000

支出総額 0

差引残高 3,475,000

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	昨年度予算額	比較増減		摘 要
			増	減	
繰 越 金	3,173,881	3,169,360	4,521		
収 入	300,000	300,000	0	0	
1 繰 入 金	300,000	300,000	0	0	一般会計より
雑 収 入	1,119	640	479		預金利息等
合 計	3,475,000	3,470,000	5,000		

議案第3号
その他

応援歌

副歌

一、天地の精気金砂がに

こもりてここに八十年
その春秋に磨き来し
各校の数は多けれど
ことに優れし秋工の
誉は世々に尽きざらん

二、天地の精気金砂がに

こもりてここに八十年
その春秋に鍛へ来し
秋工の健児の意気高し
いざや立ていざ奮へ
ああ必勝の時ぞ今

必勝の歌

一、赤き血潮の^{ますらお}丈夫よ

鍛へ鍛へしその腕を
今ぞ現す時は来ぬ
奮え鍛えしその腕を
松の緑は尽きるとも
選手の榮譽は尽きざらん

二、赤き血潮の丈夫よ

鍛へし強き腕もて
期せ必勝の光栄を
汚すな金砂が健児の名
世も^{あめつち}天地も尽きるとも
選手の榮譽は尽きざらん

秋工健児

一、我が頼もしき選手等よ

清き誇りを胸にこめ
骨肉飛散の奮闘に
栄えある園の花となれ

二、空を彩るコバルトの

秋工健児の応援旗
熱声あふれる声援に
いざ立て秋工のチャンピオン

出陣の歌

一、時は来たれり我が選手

奮へ戦へ倒るまで
赤き心の熱血を
手形が原に流すまで

二、栄ある友よ我が選手

感謝に燃ゆる心もて
炎と赤き真心の
^{ぐれん}紅蓮の色を^{かて}糧として

金砂健児

一、風^{しょうじょう}瀟々と雲を呼ぶ
大平下る^{りょうふう}涼風に

金砂が原頭只中に
我等が健児のその勲

二、姿も雄々しき太平を

朝な夕なに仰ぎみて
鍛へし我等が健男児
戦ふ時ぞ今来る

中春の光

- 一、中春の光空に満つ
春たけなわの金砂がに
いざ立て健児秋工の
日頃の腕を試しめん
- 二、幾日ここに鍛へたる
双^{もろ}の腕に満ち^み充てる
力試さん時ぞ今
征け征け勝利の峰高く

秋工音頭

- 一、山は太平流れは旭
丘の緑がにっこり笑う
風はそよ風桜も咲いて
八十余年を語り合う
ホンに秋工はよい所
ソレよい所
- 二、強い体で心はやさし
話しかければにっこり笑う
意気は剛健努力は不断
一千二百が肩を組む
ホンに秋工はよい所
ソレよい所
- 三、進む料学へ輝く瞳
望み大きくにっこり笑う
金砂健児は技術に生きて
先輩二万ぼくといる
ホンに秋工はよい所
ソレよい所

金砂行進曲

- 一、太平の空^{こむらさき}濃紫^{濃紫}
望みは清し旭川
此金砂がに宿りして
八十余年の春と秋
栄えある歴史思ふ時
胸に血潮の波おどる
- 二、集へる健児幾千の
心は一つ諸共に
花なり実なり工業の
基^{もとみ}を養い磨くなり
鍛え上げたる腕は
世の濁流も物ならず

ラグビーの歌

- 白^{はくがい}凱^{がい}々の雪にて
球蹴れば^{ぎんかい}銀塊^{ぎんかい}飛ぶ
紫白^{たけき}の^{しるし}猛^{たけき}き^{しるし}徴^{しるし}には
世助の誉高し
- 勇めよ我友よ
いざ征けいざ征けよ
正義の小旗なびき
自助^{じじよ}の劍輝く

トララ秋工秋工トララトララ
トララ秋工秋工トララトララ

凱歌

- 戦雲すでおさまりて
敵軍今や影いつこ
見よ^{さんぜん}燦然^{さんぜん}と輝ける
我等が秋工の旗の色

秋田県立秋田工業高等学校
同窓会会則

昭和36年6月改定
昭和44年6月改定
昭和48年6月改定
昭和59年5月改定
昭和62年5月改定
平成15年6月改定
平成16年5月改定
平成21年5月改正
平成23年5月改正

【総則】

第1条(名称)

本会を秋田県立秋田工業高等学校同窓会と称する。

第2条(目的)

本会は会員相互の親睦を図り鉱工業諸般の問題を考究し、併せて母校を後援することを目的とする。

第3条(事業)

本会は前条の目的を達成するため、会員名簿及び機関誌の発行など必要な事業を行う。

第4条(所在地及び事務局)

本会の所在地及び事務局を秋田県秋田市金砂町3-1に置く。

第5条(会員)

本会会員は次の正会員と賛助会員で構成する。

- 一. 正会員 本校卒業生並びに修了生。
- 二. 賛助会員 本校の職員及び本会の趣旨に賛同し会長の推薦した者。

【役員】

第6条(構成)

本会は次の役員を置く。

- | | | |
|----------------|---------------|-------------|
| 一. 名誉会長 1名 | 二. 顧問・相談役 若干名 | 三. 会長 1名 |
| 四. 副会長 若干名 | 五. 幹事長 1名 | 六. 副幹事長 若干名 |
| 七. 常任幹事、幹事 若干名 | 八. 監事 2名 | |

第7条(名誉会長)

秋田県立秋田工業高等学校長を名誉会長としてお迎えする。

第8条(顧問・相談役)

会長は幹事会に諮り、顧問・相談役を推薦することができる。

第9条(任期)

役員は任期は2年とする。但し再任を妨げない。

第10条(選出)

役員は会員の中から選出し、総会の承認を得るものとする。

第11条(任務)

- ①会長は会務を統轄し、本会を代表する。
- ②副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。
- ③幹事長は本会の会務実行を統轄する。
- ④副幹事長は幹事長を補佐し、必要あるときはその代行をする。
- ⑤常任幹事、幹事は本会の会務を分掌する。
- ⑥監事は会計事務等を監査する。

第12条(事務局)

- ①本会の庶務、会計は同窓会係職員で構成する事務局があたる。
- ②会長は事務員を委嘱する。

【会議】

第13条(総会)

- ①本会の通常総会は毎年5月に行う。必要に応じて臨時総会を開くことができる。
- ②総会は次の事項を議決する。
 - 一. 事業報告及び決算の承認
 - 二. 事業計画及び予算の承認
 - 三. 役員を選出
 - 四. 会則の改正
 - 五. その他必要と認められた事項

第14条(幹事会)

- 幹事会は必要に応じて会長が召集し、次の事項を協議する。
- 一. 総会に提出する案件
 - 二. その他会務に必要な事項

【組 織】

第 15 条(専門委員会)

本会に企画、財政、名簿及び広報を担当する委員会を置く。

- ①各委員会は、会長が委嘱する幹事若干名をもって構成する。
- ②委員長は委員の中より互選する。
- ③副会長はいずれかの委員会を担当し、指導及び助言を行う。
- ④各委員会は、必要に応じて委員長が召集しそれぞれの事項について審議し、随時会長に意見を具申する。ただし、必要により一部業務を執行する。
 - 一、企画委員会…本会の企画、運営及び他の委員会に属さない事項に関すること。
 - 二、財政委員会…本会運営のための財政全般に関すること。
 - 三、名簿委員会…各年次の名簿整理の促進及び名簿発行に関すること。
 - 四、広報委員会…「同窓会誌」の発行及び本会の運営上必要な広報に関すること。

第 16 条(支 部)

本会の支部に関する規程は別にこれを定める。

【会 計】

第 17 条(経 費)

本会の経費は、会費、入会金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。

- 一、本会の正会員は、毎年会費を納入し入会者は入会に際し入会金を納めるものとする。
- 二、会費は年額 2,000 円とする。在校生は入会金 5,400 円を卒業時まで納入する。
- 三、会費および入会金の改正は総会の承認を得るものとする。
但し、入会金については会長はあらかじめ学校長と協議しなければならない。

第 18 条(基 金)

- ①本会は基金を設けることができる。
- ②基金は一般会計の基金及び寄付金をもって積み立てする。
- ③本会の目的達成のため、基金の取りくずしが必要なときは総会の承認を得るものとする。
- ④基金の決算は監査を受け、監査結果を総会に報告し、承認を得るものとする。

第 19 条(会計年度)

本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

【裁 決】

第 20 条(裁 決)

会議の議事は出席会員の多数決によるものとする。
但し、会則の改正は出席会員の三分の二以上の賛成者を要する。

第 21 条(褒 賞)

同窓会及び学校発展のため特に功績のあった者については、褒賞することが出来る。

付則 この会則は、平成 23 年 5 月 28 日から施行する。

秋田工業高校同窓会支部設置規程

(規程理由)

第 1 条 会則第 16 条により、支部設置規程を定める。

(組織対象)

第 2 条 支部組織は、その組織対象を明確にするとともに、会則第 5 条に定める会員をもって組織する。

(目 的)

第 3 条 本部との連携を密にし、会員の親睦と情報交流を図ることおよび支部独自の事業を行うことを目的とする。

(登 録)

第 4 条 支部を設置するときは、代表者署名の申請文書に支部規程、役員名簿および会員名簿を添えて本部へ登録し、承認を得るものとする。

(運営費用)

第 5 条 支部運営費用は、原則として支部会費で賄うものとする。

(分割・合併)

第 6 条 支部が分割または合併をするときは、その理由を明記した支部長署名の文書を本部へ提出し、承認を得るものとする。

(改 廃)

第 7 条 本規程の改廃は、会則第 20 条に準ずる。

付則 この規程は、平成 23 年 5 月 28 日から施行する。